

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年2月9日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年2月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【高温焼却炉建屋東側壁面からの水の漏えいについて】 協力企業作業員が、高温焼却炉建屋東側壁面に設置している第二セシウム吸着装置ベント口(吸着装置内で発生する水素の排出用)から水が漏えいしていることを確認。 同時時間帯、停止中の第二セシウム吸着装置では、弁点検のためろ過水による洗浄作業を実施中であり、ろ過水の元弁を閉めたことにより、水の漏えい停止を確認。 漏えいした水は系統水およびろ過水であり、漏えい箇所の敷き鉄板上に水溜まりを確認。 鉄板の隙間から土壌へ漏えい水が染み込んだ可能性があるため、応急処置として当該エリアを区画することで立ち入り制限を行うとともに、今後、土壌の回収を行う。 なお、この漏えいに伴う、敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタ、排水路モニタに有意な変動がないことを確認しており、現時点で外部への影響は確認されていないが、継続して各種モニタを注視する。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	G I	2月7日